

「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会 in 国東 開催概要

[開催日：平成30年11月2日(金)]

[学校訪問①] 国東市立安岐中央小学校

[訪問者] 大分県教育委員会（工藤教育長、教育委員、理事、教育次長 他）
国東市教育委員会（加藤教育長、教育委員 他）

国東市立安岐中央小学校は、平成20年に朝来小・西武蔵小・南安岐小・西安岐小の4校が統合し、今年で11年目を迎える学校です。

新学習指導要領を見据えて、学校の教育目標の見直しを行うとともに、外国語活動の学習については市の指定を受けて市内の学校の推進役として取組を進めています。

また、当日の授業参観では、学年を問わず意欲的に外国語活動に取り組む子どもたちの姿が見られるとともに、コミュニティー・スクールによる、「学力・読書応援団」「伝統・文化応援団」など5つの応援団を中心に家庭・地域と協働した取組の紹介がありました。



[学校訪問①] 国東市立国東中学校

[訪問者] 訪問先①に同じ

国東市立国東中学校は、平成21年4月に来浦中・富来中・国東中・城崎中の4校が統合した学校で、学校新聞「国中 TIMES」が全国学校新聞コンクールにおいて内閣総理大臣賞を4度、昨年は名誉大賞を受賞するなど継続した取組を続けています

今年度は「10年目のチャレンジ」を重点目標に、子どもたちに付けたい力を具体的に設定して取組を行っています。

当日は、よりよい授業づくりに向けた「新国中スタンダード」や「国中マナーモード3箇条」など教職員と生徒が一体となった学校全体での取組について紹介がありました。



[学校訪問③] 大分県立国東高等学校

[訪問者] 訪問先①に同じ

大分県立国東高等学校・双国校は、平成20年に旧国東高校、旧国東農工高校、双国高校が統合した学校です。

魅力ある学校づくりに向けて地域と連携して『『くにさき 魅力発信』プロジェクト』(国東高校)や「双国☆夢実現・地域創生プロジェクト」(双国校)の取組を行っています。

当日は、「国高スタンダード」や各科の取組、そしてスクールプラン・マイプランによる組織的な授業改善の取組等について紹介がありました。



【意見交換会テーマ】(1) 持続的・発展的な学力向上に向けた取組について

～思考力・判断力・表現力等を中心に～

(2) 地域の将来に貢献する高校づくりについて

【出席者】 学校訪問①、国東市立小・中学校長（小学校3校、中学校4校）、及び国東高等学校長・双国校副校長 他

(1) 持続的・発展的な学力向上に向けた取組について～思考力・判断力・表現力等を中心に～

▶国東市の学力向上に係る取組

- ①授業づくりの Point 提示
- ②校内研究での授業改善5点セットの取組
- ③学力の個人差に対応した取組
- ④教育活動全体を通じた指導
- ⑤キャリアステージに応じた指導

▶各校の主な取組

「国東市統一指導案」による「新大分スタンダード」に基づいた授業改善を推進している。思考力・判断力・表現力の育成、学力の2極化を解消するための取組を進めている。



【主な意見】

- ・学力向上のためには生徒と先生の関係性が大きい。魅力的な先生になってもらいたい。
- ・「育てる」という意識から、「育つ」という意識へ。人間力を考えながら知識を習得させ、活用力を付けてもらいたい。

(2) 地域の将来に貢献する高校づくりについて

▶国東市のまちづくりビジョン

- ①若い世代が結婚・出産・子育てに希望の持てる環境
- ②国東市への人の流れ
- ③安定した雇用の創出
- ④時代に合った地域づくり、安心した暮らしを守る地域連携

▶国東高校・双国校の学校づくりについて(高校教育課)

「地域の将来を担う人材を育成」
「地域と連携した魅力・特色ある学校づくりの推進」
→幼小中高で地域に誇りを持つ人材育成を推進



【主な意見】

- ・高校の取組を理解してもらうための教頭・主幹による学校訪問を推進
- ・小学校、中学校からの郷土愛を育むキャリア教育の必要性
- ・高校生から小学生への夏休みの補充指導など、高校生の活躍を小学生の段階から見せていくことが重要

【意見交換を終えて】

(加藤市教育長から)

○義務制と高校の壁をなくし、高校と連携して取組をすすめたい。小中学校で力をつけて、高校に送り出す。「チーム国東」「オール国東」で、子どもを育て、結果につながればよいと考えている。国東高校でよかった、国東高校でできるんだと思ってもらいたい。

(工藤県教育長から)

○小中学校も高等学校も思いは同じ、課題について語り合い議論するとともに高校としては引き続き広域異動を進めて県全体の教育力を高めていきたい。